

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 5 月 1 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471700322		
法人名	社会福祉法人 敬養会		
事業所名	グループホーム さつき		
所在地	広島県府中市木野山町箱田奥前1537-1 (電話)0847-68-2432		
自己評価作成日	2011年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(社福)広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年12月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

看取り介護を安心して任されるグループホーム

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホームさつき(以下、ホーム)では、運営推進会議に家族、地域包括支援センター職員、町内会長、地域住民の出席を得て、ホームと町内会との状況を報告し合うなど、参加者と意見交換が交わされています。</p> <p>府中市が実施する認知症にやさしい地域づくり推進協議会に管理者が参加し、行政担当者や他の事業所などさまざまな職種や立場の人と話し合いをされています。</p> <p>看取りについては、家族へ説明を行い同意書を交わされています。また、家族とのコミュニケーションを綿密に取り、職員全員で得た情報を共有しながら、入居者が最期まで自分らしく過ごせるよう努めておられます。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	社会福祉法人 敬羨会の理念に添ってグループホームさつき独自の理念を作っています。朝礼時に職員一同復唱しています。	法人理念を基に、ホーム独自の理念を職員全員で検討し作成されています。理念は朝礼で毎日唱和し、職員全体で共有できるよう努めておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設施設の行事に参加して地域の方との交流に努めています。	ホームは町内会に加入し、回覧板で行事の情報など得ておられます。地域の敬老会に、入居者と参加されています。また、ホームの行事には地域住民へ参加を呼びかけ、積極的に地域と関わりを持つよう努力されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	在宅介護支援センター連携を摂り地域の高齢者などの暮らしに役立つような事がなにか話し合いをもつようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を通じて利用者の状況、行事などを報告しています。また自己評価・外部評価の資料を回覧できるように玄関先に配置しています。	会議には、家族、地域包括支援センター、町内会、地域住民の参加が得られています。ホームと町内会がお互いに状況報告と意見交換が行われています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	府中市の担当者の方と交流する機会をもつようにしています。	府中市が実施する「認知症にやさしい地域づくり推進協議会」に管理者が参加し、さまざまな職種や立場の人との話し合いが行われています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会を通じて学ぶようにしています。	日中、玄関は施錠されていません。玄関に人感センサーを設置し、出入りの時には音が鳴るため安全にも配慮されています。転倒のリスクが高いと判断した場合は、転倒を防ぐためにベッド柵に鈴をつけるなど、拘束をしないケアに工夫されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止法関連法について勉強会を通じて学べるようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の必要性を関係者と話し合い、必要な方へは活用して頂けるようにしています。また、勉強会を実施していき、職員一同が学べるようにしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書を説明して、ご家族様に納得して頂ける様に十分に説明を行い、理解・納得して頂けるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見・苦情箱を玄関先に設置しています。	ホームでは、意見箱を設置されています。家族の来訪時には、意見を聞くように努力されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日、ミーティングを実施して職員の意見や提案を聞く機会を設けています。	職員は、気づきや提案などをミーティングノートに記載し全体で共有されています。記載内容に対しては、管理者や主任がコメントを書かれています。毎朝のミーティング時に意見や提案が出されていますが、検討が必要な場合は職員会議を随時開催されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社会福祉法人 敬養会のDO-CAPシートにて、各自が向上心をもって働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修には、職員が順次受講できるようにしています。また、事業所内外で行われる勉強会に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者が中心となり、地域の同業者と交流する機会をもつように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様より、ゆっくりと話を聴く機会を設けながら、ご本人様を受け止めるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご契約時また面会時に時間をとり、不安なこと、ご家族が望んでおられることを聴く機会を作るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様の要望を先ず聴き、必要に応じて他のサービス利用も含めた対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員と利用者が一緒にゆったりと過ごす環境を作り、介護というよりも、寄り添う介護を目指しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の一員として、一緒に考え、悩み、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築くようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族のご協力を得ながら、利用者様の生活習慣を聴き、今までの生活に近い環境を提供できるように努めています。	馴染みの床屋や墓参りに行くなど、入居前の生活習慣が継続できるよう支援されています。また、近所の住民が、入居者の顔を見にホームに立ち寄ることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の関係を大切に行き、又、個々の生活パターンを理解しながら、一つの家族として楽しく生活できるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用時に培われた関係を大切にしながら、相談・支援に応じるように努めています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向の把握に努めながら、困難な場合には、ご家族の情報も得ながら本人の視点に立ち、ケアをしていくように心がけています。	食事の献立は、午前中に入居者と職員が話し合いで決めておられます。ホームからスーパーマーケットなどの店が遠いため、週1回には移動販売車の訪問があります。入居者は、果物やお菓子など好物を購入されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	安心して生活できる環境を提供していくため、これまでの生活パターンやサービス利用の経過などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様お一人おひとりが出来ることを見つけて、機能維持に努めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様又、家族の方より話を伺いながら、それぞれの意見を反映した介護計画を作成するように心がけています。	入居者ごとに職員の担当を決めており、アセスメントから担当者が関わっています。担当者が把握した内容をもとに、ケアマネジャーが介護計画を立案し、管理者が確認したうえで計画が実施されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアの実践などを個別記録に記入し、介護計画の見直しやモニタリング時に参考にしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様または、ご家族の方の要望に応じて、柔軟に対応できるように心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	月に一度のボランティアにより、音楽療法に取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人様又ご家族の方の希望を大切にし、かかりつけ医に適切な医療をうけられるように努めています。	入居前のかかりつけ医を継続して受診できるよう支援されています。協力医による医師の往診があります。主治医が2人おり、入居者のほとんどが協力医に変更されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員による日常の健康管理を心がけています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族のご協力の元、早期に退院できるように病院関係者との情報交換に努めるように心がけています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご本人様又、ご家族の方の気持ちを尊重し、事業所として出来ることを考え、かかりつけ医と相談しながら支援していくようにしています。	ホームでの看取りについて、家族に説明を行い同意書を交わされています。また、終末期を迎えた入居者の家族とは、コミュニケーションを綿密にとり、得た情報を職員全体で共有できるよう取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルに沿って対応できるように努めています。又、日々の業務の中で、看護職員から緊急時の対応を聞くようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防計画に沿って安全に避難できるように努めています。山間部に位置しているため、併設の事業所に応援体制を依頼しています。	災害時における関係機関の一覧表を作成し、非常時の連携が図れるよう備えておられます。また、近隣には住宅が少ないため、近くの他の事業所との連携が取れるよう救助対策を整備されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人ひとりのプライバシーを大切にしながら、記録などの個人情報も大切に扱うように心がけています。	個人情報となる書類などは、鍵のかかる戸棚に保管されています。職員は居室へ入室する際に、必ず声かけをするよう徹底されています。また、入居者の意思を尊重した対応ができるよう努めておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決められることは決めていただき、難しいことなどは、ご家族に相談するようにしています。また、言葉だけでなく、表情から得られる情報を大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にしながら、日々の生活を楽しみあるものにするように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望時には、ご家族様の協力を得ながら行きつけの美容院に行けるように努めています。又、美容院の方に来苑していただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しい時間になるように、会話を楽しみながら又、食事の片付けなどのお手伝いをお願いしています。	職員は、入居者と同じテーブルで食事をするようにされています。また、共通の話題で盛りあがるなど、楽しく食事できるよう工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者様一人ひとりに応じた食事形態をとり、水分摂取量などを記録して調整に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施しています。又、必要に応じて入れ歯の口臭予防に薬剤を使用しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	定時のトイレ誘導、又、本人の訴え時や表情などを観察してトイレ誘導に努めています。	定期的に誘導するだけでなく、入居者の様子を見ながら排泄のサインを見逃さないように努められています。また、随時トイレへの誘導が迅速に行えるよう心がけておられます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェックを行い、又、便秘予防に努め、適切な運動を促すようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者一人ひとり、ゆっくりと午後より入浴して頂ける様に配慮しています。又、リラックスして頂ける時間にするため、本人のペースを大切にしています。	入浴は、週2回を基本に提供されています。入浴を好まない入居者には無理強ひせず、入りたいと思う時に入浴できるよう配慮されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの睡眠パターンを把握していくようにしています。又、安心して睡眠できる環境を提供できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員一人一人が、薬の目的や副作用など理解して、利用者様の状態変化の確認に努めるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の出来ることを引き出し、役割を持っていただくように支援しています。(洗濯・トレーを拭いていただく事など)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人様の希望時には、屋外に出られるようにしています。	入居者が行きたい場所の希望を聞きながら、要望に応えるよう外出行事の日程調整をされています。車酔いなどを防ぐため、外出する場所に配慮しながら出かけておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を持つことにより、利用者様が安心される場合には、小額をご本人管理にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話口に出ていただくコミュニケーションを支援しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には、季節の花などを飾ったり、食事作り、おやつ作りの写真を飾って、心和むような雰囲気を作るようにしています。	廊下・リビングに天窓があり、ホーム全体が明るく日当たりの良い造りとなっています。壁には、入居者の手作りによる季節に応じた作品が飾られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間には、畳のコーナーがあり、昼寝をされたり、テレビを観たり出来るようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、ご家族の写真や遺影などがあり、思い出を大切にした環境を心がけています。	入居者は、時計・テレビ・写真など思い思いに馴染みのある物を持ち込み、居心地良く過ごせるよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの場所など、利用者様の目線に合わせて標識を作っています。又、職員が手を出し過ぎず、目を離さずに危険がないように支援しています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の3分の2くらい
			③利用者の3分の1くらい
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
		○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム さつき
作成日 平成 24 年 5 月 9 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		冬の期間が長い為外出できる時期が少ない。立地条件も悪い。	外出の機会を今以上に増やす。	天候の良い時期にしっかり計画を立てて, 外出する機会を増やす。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。